

# 「福島浜通りトライデック」2022 年度事業報告 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)

## 1 調査研究の実施

### 〔調査研究の実施項目〕

- ・米国ハンフォード地域の経済発展とその福島浜通り地域への適応に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の復興状況と今後の課題等に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の経済発展に資するニーズ等のマーケット調査
- ・「創造的文理融合型人材」育成のための教育研究プログラム開発に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の歴史・文化に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の観光の再発見に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の暮らしを再生する地域貢献と社会活動のプロモーションに関する調査研究
- ・その他福島浜通り地域の新たな視点からの復興創生に資する調査研究

### 〔調査研究の主な実施状況〕

#### ○ 河合先生

- ・地域経済活性化における地学連携の役割について  
-福島県浜通り地域における取組事例を中心に-  
東日本国際大学研究紀要 第 28 巻第 1 号 2023 年 3 月

#### ○ 三浦先生

- ・アフターコロナの観光 - 福島県ホープツーリズムのこれからを考える -  
いわきヒューマンカレッジ 2022 年 10 月

#### ○ 福島大学

##### ○[foR-F プロジェクト]

福島県の地域課題解決に必要な研究であるとともに、国策としても重要な研究など、特に地域・社会ニーズが高いと認知されている、将来的に大学の価値を高める(大学の特色となる)ことが見込まれる研究プロジェクト(3年間)

- ・官学連携による「住民参加型行財政システム」の構築に向けた実証的研究 一人材育成に向けた「公共政策プログラム」の開設を通して—  
経済経営学類:藤原 遥(代表)、村上早紀子  
行政政策学類:岸見太一、法政大学:林 嶺那
- ・ゲノム科学・技術を援用した栽培・発酵好適性イネ系統の開発基盤研究  
食農学類:松田 幹(代表)、松岡 信、小山良太、藤井 力、高橋秀和、吉田英樹、菅波真央、北野英己、吉田晋也

・福島型 STEAM 教育の開拓

人間発達文化学類: 中田文憲(代表)、新井 浩、初澤敏生、渡邊晃一

・脱炭素型エネルギーシステムの構築: 水素をつくる・つかう技術の多様化

共生システム理工学類: 大山 大(代表)、浅田隆志

○[foR-A プロジェクト]

福島県の地域課題の解決に必要な研究を行うプロジェクト(単年度)

・福島野菜の有利性を科学的に証明

～多様な気象条件が栄養・機能に及ぼす影響を探る～

食農学類: 深山陽子(代表)、平修、牧雅康

・農地や生活圏域での流路内浸透・貯留工法によるノンポイント汚濁削減技術の地域実装

食農学類: 原田茂樹(代表)、石井秀樹、窪田陽介、林薫平

## 2 米国ハンフォード地域との連携

○ ワシントン州立大学トライシティーズ校及びコロンビアベイスン短期大学と東日本国際大学との間で連携協力協定を締結した。(2022年9月)

○ ハンフォード・トライデックと福島浜通りトライデックとの間で連携協力協定を締結した。(2022年9月)

○ 東日本国際大学経済経営学部の学生3名及び教職員2名をハンフォード地域へ派遣した。(2023年3月)

## 3 福島浜通り地域の復興創生に関するビジョンの作成

○ 「福島浜通りトライデック-その課題と展望-」(発行者: 一般社団法人 福島浜通りトライデック、制作: 論創社)を刊行した。(2022年7月)

## 4 福島浜通り地域の復興創生に関するセミナーの開催

○ 「復興学連続セミナー」を、東日本国際大学の授業科目「復興学」の中で一般にも Zoom を活用して公開し 2022年12月～2023年1月に実施した。

第1回 大和田 新 氏 (ラジオパーソナリティ)

「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ」

第2回 吉田 恵美子 氏 (NPO 法人ザ・ピープル理事長)

「福島復興の先を見据えて-市民活動の現場から-」

第3回 ケンタロ オノ 氏 (一般社団法人日本キリバス協会代表理事)

「私たちが望む未来-The Future We Want-」

## 5 福島浜通りを活性化するための連携教育プログラムの検討

- 文部科学省の「大学の世界展開力強化事業- 米国等との大学間交流形成支援-」に応募するための準備を行った。
  - ・海外相手大学・・・ワシントン州立大学トライシティーズ校、コロンビアバーストン短期大学
  - ・国内連携大学等・・・福島工業高等専門学校、一般社団法人福島浜通りトライデック

## 6 提言書等の取りまとめ

- 福島国際研究教育機構(F-REI)に対する要望書を取りまとめるための準備を行った。

## 7 復興創生に取り組んでいる関連組織との関係構築・連携強化

- いわき市が実施する「福島国際研究教育機構」との連携に向けた関係機関情報交換会へ参画した。

## 8 会員拡大、広報活動の強化

- ・会員数はさほど増加しなかった。
  - 団体正会員 (12 団体(発足時) → 16 団体(2023 年 6 月末))
  - 団体賛助会員 ( 3 団体(発足時) → 3 団体(2023 年 6 月末))
  - 個人正会員 (18 人(発足時) → 19 人 (2023 年 6 月末))